連続講演会　アジア史のひろば

文学部アジア史コースでは、主に学部生を対象として、アジア史を身近に感じてもらうための連続講演会を開催いたします。講師には、学界やビジネスの現場の第一線で活躍している方々をお招きして講演していただきます。アジアの歴史・文化・社会に興味のある方は是非ご参加ください。

第三回講演

「日本でアジア史を学ぶ：世界から見た日本のアジア史研究」

講師　飯山 知保　氏（早稲田大学高等研究所招聘研究員）

日時：2016 年 10 月 11 日（火）3 限（13：00～14：30）
会場：戸山キャンパス 32 号館 127 教室　　**※事前予約不要**

○講演概要

20 世紀における日本・中国・台湾・韓国をはじめとしたアジア諸国の経済的な隆盛をうけ、「アジア史」という学問研究が世界的に拡散する結果をもたらした。この講演では、主に日本・欧米・中国のアジア学の趨勢を紹介したうえで、その中で日本のアジア史研究がいかなる評価を受け、国際的な人文学の潮流の中でどのような位置にあるのかを、わかりやすく紹介したい。

○講師略歴

2003 年 9 月～2005 年 10 月
　中国社会科学院研究生院高級進修生
2008 年 5 月～2009 年 3 月
　Research Associate, Harvard-Yenching Institute
2012 年 4 月　早稲田大学高等研究所准教授
2015 年 4 月　早稲田大学高等研究所招聘研究員
2016 年 2 月　Visiting Scholar, Yale University

イェール大学の研究棟

第四回講演

「占いから覗き見る中国古代の人々」

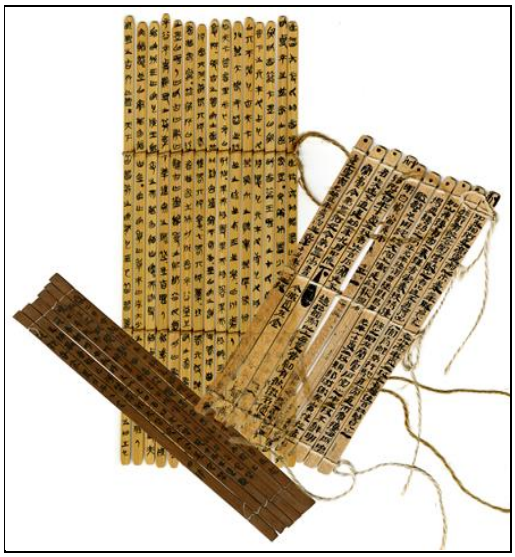
講師　森 和　氏（成城大学民俗学研究所・研究員）

日時：2016 年 10 月 21 日（金）4 限（14：45～16：15）
会場：戸山キャンパス 31 号館 105 教室

※事前予約不要

○講演概要

中国の古代を研究する上で年々重要性を増しているのが、中国の各地で発見される木や竹のふだや絹布に書かれた文字資料――簡牘帛書である。出土場所や時代、内容などいろいろある簡牘帛書の中から、一見歴史学とは縁のなさそうな占いの本を取り上げ、そこから古代の人々は何を考え、どのように行動していたのか、また彼らを取り巻く社会はどのようであったのか、そのようなことを覗き見てみたい。



○講師略歴

2002 年 11 月　早稲田大学文学研究科・客員研究助手
2005 年 3 月　早稲田大学大学院文学研究科史学
（東洋史）博士後期課程単位取得、退学。
2007 年 10 月　早稲田大学高等研究所・助教
2011 年 4 月　武蔵野大学他・非常勤講師
2012 年 4 月　成城大学民俗学研究所・研究員

質問がありましたら、戸山キャンパス 39 号館 4 階アジア史コース室へどうぞ！

文学部アジア史コース室
TEL：03-5286-3703(直通)
連絡先：峰雪　幸人（助手）
Mail：　cyto-peaksnow@aoni.waseda.jp

主催：文学部アジア史コース　　共催：早稲田大学東洋史懇話会